



泉水山

真庭市立河内小学校だより
R8年度 第19号
令和8年10月26日(月)発行

「人権参観日」にご来校くださり、ありがとうございました

10月22日(木)は「人権参観日」でした。参観授業は全学年道徳とし、「友だちのよいところ見つけ」や「親友について」、「いじめについて」など、人とのかかわり方について考える内容を中心として行いました。

このうち1年生では、授業終盤に友だちのよいところやがんばっていることを書き出したハート型のふせんを、ひとりひとり手渡していました。渡す方も渡される方も、見守るみんなも保護者の方もみんな笑顔で、心温まる時間となっていました。

その後の人権講演会では、真庭警察署生活安全課課長樋口敏行様より「小学生のネット利用とルールづくり～保護者と地域で守る子どもたち～」と題してご講演をいただきました。ネット利用のリスクは睡眠・生活リズムの乱れや人間関係の悪化の他、個人情報の漏洩や「闇バイト」などの犯罪に巻き込まれる等がありますが、「見えにくい」のが特徴です。正しく使うことが自分や相手、周囲の人を守ることになるということを子どもに認識させ、必ず親子で話し合っ「ルール」を決めることが大切、とのお話でした。また、河内学区青少年育成協議会長海原明様からも、「地域ぐるみで子どもたちを見守っていきましょう。」と呼びかけがありました。ネットと無縁でいられない時代を生きる子どもたちが、ネットを正しく怖がり、安全な使い方を身に付けられるよう、これからもサポートをお願いいたします。



「たてわり遊び」



10月16日(金)のお昼休みに「たてわり遊び」をしました。たてわり班で運動場・体育館・音楽室に集まり、まずは3分間の「8の字跳び」に挑戦しました。記録は「折れ線グラフ」を学習した4年生が、児童玄関に掲示している用紙に記録してくれることになっています。

その後は、ドッジボールや「新聞紙じゃんけん」等、6年生の班長さんが考えてくれた遊びを班の全員で楽しみました。

3・4年生「高齢者疑似体験」

10月19日(月)、3・4年生は総合的な学習の時間で取り組む「高齢者福祉」の学習で、学区内の「信愛苑」のスタッフの方にお越しいただき、高齢者疑似体験を行いました。

年齢を重ねると身体や知覚の機能が衰え、生活する上で様々な困難な状況が生じます。身体に様々な装具を装着することで、その「困難さ」を体験しようというものです。装具を装着した人と、介助をする人とでペアになり、階段を上がり降りしたりワークスペースを歩いたりしました。その他、介護用品の使い方も教えていただきました。

子どもたちからは「年をとった人の大変さが分かりました。」とか「周りが見にくくて、階段の上がり降りが怖いなあと思いました。」などの感想が出されました。

今後3・4年生は、高齢者の方とのかかわり方についてさらに学びを深め、「信愛苑」さんの訪問活動へとつなげていく予定です。



フラワーアレンジメント教室



10月20日(火)、JA岡山まにわ花き部会協議会と美作広域農業普及センターの方にお世話になり、3・4・6年生が真庭産の花を使った「フラワーアレンジメント教室」を体験しました。

はじめに、真庭地域の花や花づくりについてお話をお聞きました。この

日持ってきてくださった花の多くは蒜山や新庄で栽培されており、真庭地域は全体としても花栽培がさかんなことを知りました。

続いていよいよアレンジメント制作です。ほとんどの人が初体験だったようですが、学年混合の班内で、お互いにアドバイスしたり教え合ったりしながら、楽しく作っていました。全員同じ花材で作りましたが、ひとりひとりの個性が光るすてきな作品に仕上がりました。中には、茎や小枝の先まで無駄にしないで使っている人もいて、いただいた花材を大切に使うとする気持ちの表れと嬉しく感じました。アレンジメントは22日の参観日に保護者の方に見ていただいた後、持ち帰っていただきました。

落合中学校チャレンジワーク

10月21日(水)～23日(金)の3日間、落合中学校2年生4名が、本校に「チャレンジワーク」に来てくれました。高学年児童の中には、毎朝中学生の訪問を児童玄関で待っている人がいるくらいの歓待ぶりでした。



様々な学年の授業に入って小学生のサポートをしてくれたり、休み時間には一緒に遊んでくれたりするので、みんな大喜びでした。他にも人権講演会の会場設営を手伝ってくれたり、運動場の大量の落ち葉掃除をしてくれたり、環境整備に力を貸してくれました。

最終日には、予め作成していたスライドを示しつつ、6年生へ向けて、勉強・学校生活・部活の観点から中学校生活を紹介するプレゼンをしてくれました。6年生は〇×クイズを考えたり質問したりすることで、半年先に迫った中学校生活について具体的なイメージがもてたようです。4人の中学生のみなさん、ありがとうございました。